

老人福祉センターの在り方方針（案）に対する意見募集（パブリックコメント）結果

整理 番号	提出された意見		意見に対する市の考え方
1-1	意見	老朽化している施設でも建て替えが予算上できない場合は出来るだけ整備して利用すべき（西部福祉センターは30年）	<p>2館とも老朽化が進んでおり、施設を安全に維持していく上では、建物や設備の大規模な改修工事が必要となります。令和2年度に策定した「我孫子市老人福祉センター等個別施設計画」では、今後の施設維持に必要な工事費として、2館合わせて概算で約2億4千万円程度と試算しています。現在は通常の維持コストに加え、物価高騰等により更なる増加が見込まれており、今後も市民全体のニーズに適切に対応しながら持続可能な財政運営を進めていくためには、1館に統合することが適当であると考えています。</p> <p>また、市民活動の場として西部福祉センター開設当初と比較し近隣センターや民間施設等において、市民主体の多様なサークル活動などが行われています。近隣センター等の公共施設の空き状況を確認し、是非ご活用ください。</p>
1-2	意見	利用者・受益者が少ないと言うことで廃止・統合を図ることは如何なものか。	<p>利用者数は、高齢者の生活様式が多様化したこと、近隣センターなどの高齢者が利用できるコミュニティ施設の整備が進んだことなどから減少傾向にあり、さらに、新型コロナウイルスの流行を契機に大幅に減少し、現時点で徐々に回復しているもののコロナ禍以前の水準には届いていません。</p> <p>令和5年度と平成30年度の実績を比較すると、2館合わせて約4割減少しています。老人福祉センターの在り方方針（案）で記載した通り、利用者の減少の他にも施設の老朽化による維持コストの更なる増加が見込まれるため、1館に統合することが適当であると考えています。</p> <p>また、老人福祉センター2館の運営に要す</p>
	理由	少数者（マイノリティー）への理解が広まる中で少数者の切り捨ては社会福祉の精神に逆行する行為では需要が在り経営的に見込めるものは民間で事業化するのでは。	

			<p>る費用から換算すると、利用者1日一人当たりのコストは、2,268円と高額になります。</p> <p>限られた市の財源を活用し、社会情勢の変化に合わせてながら市民全世代のニーズに対応していく必要があると考えています。</p>
1-3	意見	気軽に利用できる立地などでなければ施設は成立しづらい。	<p>統合先については、市の概ね中心に近いエリアにあることや施設規模等を勘案し、つつじ荘を考えています。なお、統合する場合は、送迎バスの現行の運行ルートを基本に、活用しやすくなるよう検討していきます。</p>
	理由	自家用車・バスなどを利用できない高齢者は元気なうちなら徒歩・自転車にも頼れるが（民間バス・アビスタも少ない）	
1-4	意見	事業費の削減方策は無いのか。現行の半額ぐらいにできないか。バスについてはコース・本数の利便性を優先する。	<p>事業費の大部分は、送迎バスの運行費と入浴事業等に係る施設を運営するための人件費が指定管理等委託料の多くを占めています。現状どおり不便なく、安全・安心に施設をご利用いただくためには必要な経費であると考えています。</p> <p>なお、平成18年度に市の直営から指定管理者制度を導入したことで事業費の、経費削減が図られています。</p>
	理由	管理費・入浴事業費・バス事業費がサービスに比べて高すぎるのでは。	
2-1	意見	確かに、現在の施設の使用状況では、もったいないように考えられる。時代に合った使用形態に変えていくことが求められる。そこで、いくつかの提案をしたい。年齢要件を緩和したらどうか。現在は、障害者以外は60歳未満の利用は認めていない。	<p>統合する場合は、年齢要件や多世代で交流できるイベントの開催などについて、指定管理者の公募の際に提案事項としていくなど検討していきます。</p>
	理由	方針に書かれているように、70歳現役時代である。したがって、60歳以上の人口は増えても、実質のパイはそれほど増えてはいない。パイを増やす必要がある。施設利用可能者を介護保険第2号被保険者である40歳以上としたらどうか。40歳～50歳代でも介護予防が	

		必要な人は相当数いると考えられるため。	
2-2	意見	住所要件を緩和したらどうか。 現在は、我孫子市民と取手市民以外の利用は認めていない。(当然、利用は有料であるが、利用料の額の再検討も必要)	住所要件の緩和は、近年、市内及び取手市以外の方から要望がないため、行っていません。 現在でも、取手市と「公の施設相互利用に関する協定書」を締結しており、上記以外の市内又は取手市在住者は1回100円、それ以外の方でも1回300円で利用できます。利用者負担については検討していきます。
	理由	①市内の高齢者中心の趣味のサークルでも、我孫子市民だけ、60歳以上だけで構成している団体は少ない。老人福祉センターを使いたくても、現在は、ノーチャンスである。 ②市外からの人も、市内でガソリンスタンドの利用、お弁当、惣菜や飲み物などの購入が期待できる。	
2-3	意見	利用者情報の共有化を日常的に行えるようにしたらどうか。施設の使用登録申請時に、個人情報利用に同意をもらう等そのための工夫は必要。	市と2館の施設管理者とは情報共有・連携を図っています。しかし利用者の健康状態をリアルタイムで把握し共有化を図るシステムの導入は、高額な予算が必要となるため難しい状況です。 なお、現在でも、健康状態など心配なことがあれば、高齢者支援課や地域の高齢者なんでも相談室に繋がる体制をとっています。
	理由	現在、両施設併せて、千人程度の登録者がいて、毎日200人以上が利用し、その健康状態をリアルタイムに把握できる。利用者の変化などを、施設、高齢者何でも相談室、市で情報共有化し、変化があれば直ぐに訪問等をして、状態確認とアドバイス等を行うようにすれば、介護予防に繋がる	

		のでは。	
2-4	意見	SNS やインターネットを通じて施設利用のPRを進める。今後、超高齢独居社会は急進する。これからの高齢者は、人との付き合いや、買い物は、SNS やインターネットを通じて不自由はしない。しかし、地域とのつながりは弱いと考えられるし、家庭介護力ゼロの世帯である。	<p>SNS やインターネットを通じて施設利用のPRを進めることについては、統合する場合、指定管理者の公募の際に提案事項としていくなど検討していきます。</p> <p>我孫子市第9期介護保険事業計画・第10次高齢者保健福祉計画に基づき、高齢者が住み慣れた地域で自立した生活を継続できるよう、地域住民や地域の多様な主体がつながり、包括的な支援・サービス体制の構築を図っていきます。</p>
	理由	老人福祉センターが、これからの超高齢独居社会において、その居場所となれるかは重要である。独居や健康の不安には慣れても、一旦具合が悪くなれば、施設入所か入院するしかない。いくら施設があっても足りない時代の到来になるかも。在宅介護中心の社会にするには創意工夫が必要。	
2-5	意見	老人福祉センターという名称を変更したらどうか。例えば、「中高年ヘルスセンター」、「市民健康・介護予防センター」とか。	<p>「老人福祉センター」の名称については今後検討していきます。</p>
	理由	70歳現役時代に、老人福祉センターという名称はすぐわなないように考えられる。名称だけで、施設の中身を知らずに、自分には関係ないと思う高齢者も多いのでは。	
2-6	意見	民間のいいところをもっと發揮できるようにしたら。現在、運営は民間の指定管理	<p>当市では、一部の公共施設の運営を民間の指定管理者に委託しており、これにより民間の効率性、柔軟性、革新性を公共サービスに</p>

		者が行っている。	取り入れることが可能となっています。民間企業が持つ独自の運営手法やサービス開発力を活かし、市民の皆様により質の高いサービスを提供することを目指しています。
	理由	行政と違って、民間だと臨機応変にできるところを期待できるが、現状では、しぼりや規制があり、そうはいかない。年齢や住所要件もそうだし、情報の共有化一つをとっても個人情報情報の壁があり難しい。	
2-7	意見	施設の維持コストに対して、どれだけの還元があるか検証してみたらどうか。 老人福祉センターは、行政の施設やサービスの中では、コストのリターンが望める数少ない施設である可能性があるため。	高齢者の福祉向上に寄与する施設の効果は、短期間での成果よりも長期にわたる変化として現れることが多く、現時点では理由に書かれているような検証は難しいと考えています。
	理由	老人福祉センターを利用することによって、介護保険の利用を1年遅らせることができれば、それが10人でも年間約2千万円以上の公費節減ができる。 しかし、今まで実証した例はない。長期間にわたる調査が必要だが、今後施設の存続等を判断の材料の一つとなる。 このデイサービスの効能については、方針では触れていない。	
2-8	意見	「利用者の固定化」という表現は、正確ではない。 正しくは、リピーターが多いということである。	「利用者の固定化」という表現は、リピーターが多くかつ新規利用者が少ないという意味も含まれていると捉えています。 また、近年では利用者の年齢層は、つつじ荘、西部福祉センターともに70、80歳代が約9割となっています。 生活様式の変化や低価格で利用できるフ
	理由	施設を一度利用した多くの方は、リピーターとなっている。 しかし、年間5%以上、新旧利	

		<p>用者の入れ替えが生じている。</p> <p>10年間で、少なくとも利用者の半数以上の顔ぶれが入れ替わることになる。2～3年間だけみれば、利用者が固定化していようにみえるが、実際は利用者は少しずつ流動していて決して固定化しているわけではない。</p>	<p>フィットネスクラブや民間温浴施設の普及などから、施設設置当時の利用状況になることは難しいと考えます。</p> <p>SNSやインターネットを通じて施設利用のPRを進めることについては、統合する場合、指定管理者の公募の際に提案事項としていくなど検討していきます。</p>
3-1	意見	<p>いやしのお風呂を続けてください。</p>	<p>統合する場合でも入浴事業は継続し、入浴施設の利用時間の延長も含めてサービスが向上できるよう検討します。</p> <p>また、多くの方が健康な状態からフレイルを経て、要介護状態になると考えられているため、フレイル予防として「15分で出来る！あびこ元気アップ体操」を市内16か所の強化型きらめきデイサービスで行っています。是非ご利用ください。</p> <p>なお、現在でも、健康状態など心配なことがあれば、高齢者支援課や地域の高齢者なんでも相談室にご相談ください。</p>
	理由	<p>転勤で、我孫子に住んでセンターで情報、体の事等不安な事、お互い、話し合い、笑ったり生きがいです。家にとじ込めることになると思います。</p>	
3-2	意見	<p>一日、百円でも、会費を払うようにしたらと思います。又、センターバスが、一カ所になると、駅まで30分歩くことになるので無理です。今のバス停を残して下さい。</p>	<p>利用料については老人福祉センターの設置目的と整合を図りながら検討していきます。</p> <p>なお、統合する場合については、現行の送迎バスの運行ルートを基本に、活用しやすくなるよう検討していきます。</p>
	理由	<p>なし</p>	
4-1	意見	<p>老人福祉施設は利用者数減少 e モニターアンケートによる施設の「統合」「廃止」(51.1%) から統合へと判断していることについて</p>	<p>施設の利用者数については、平成30年度から令和5年度までの数値をベースに検討しています。施設の管理運営費や老朽化により維持コストの増加が見込まれていること</p>

	理由	<p>(1) 利用者数減少判断は、H30 年度利用者数実績と R5 年度見込み利用者数との単年度のみ比較では正確なものとはいえないことである。</p> <p>正確な利用者数減少判断を行うためには、R5 年度、R6 年度、そして R7 年度と 3 年間ににおける複数年度の利用者実績を基本とすべきである。</p> <p>(2) e モニターアンケートにおいて、施設を利用することができない 60 歳以下 (75.7%) 施設を利用できる 60 歳以上 (24.3%) へ「統合」「廃止」の設問実施していることは統合・廃止アンケート結果 (51.1%) を多く見せかける為誘導しているものと考える。</p> <p>従って、e モニターアンケートはアンケートに値するものではないと考える。</p>	<p>などから、更に 3 年間の利用実績の検証は難しい状況です。</p> <p>今後も市民全体のニーズに適切に対応しながら持続可能な財政運営を進めていく上では、当事業の縮小が適当であると考えています。</p> <p>e モニターアンケートについては、登録者 358 名のうち回答者 260 名に回答していただきました。e モニターアンケートの設計は、市民の皆様の意見や立場に偏りなく、公正かつ客観的な情報を収集することが目的であり、若い世代の意見も重要であると考えています。</p> <p>また、65 歳以上で要介護認定を受けていない方へ行った「第 9 期介護保険事業計画・第 10 次高齢者保健福祉計画策定業務に係るアンケート結果」では、回答者 1,735 人のうち老人福祉センターの「名前は知っているが利用したことがない」が 69.2% を占めています。また、利用しない理由は「趣味や仕事など他にやることがある」29.6%、「関心がない」25.3%などの回答がありました。</p>
4-2	意見 理由	<p>西部福祉センターは老朽化により、維持コスト (億単位) 更なる増加が見込まれる判断について</p> <p>西部福祉センター (築 32 年)、つつじ荘 (築 50 年) は同一鉄筋コンクリート建でいまだ健在である。西部福祉センターは、つつじ荘の築年を考えればあと 18 年以上耐久できることとなる。従って、億単位の維持コスト UP はあり得ないと考える。</p>	<p>2 館とも老朽化が進んでおり、施設を安全に維持していく上では、建物や設備の大規模な改修工事が必要となります。令和 2 年度に策定した「我孫子市老人福祉センター等個別施設計画」では、今後の施設維持に必要な工事費として、2 館合わせて概算で約 2 億 4 千万円程度と試算しています。現在は通常の維持コストに加え、物価高騰等により更なる増加が見込まれており、今後も市民全体のニーズに適切に対応しながら持続可能な財政運営を進めていくためには、1 館に統合することが適当であると考えています。</p> <p>また、市民活動の場として西部福祉センタ</p>

			一開設当初と比較し近隣センターや民間施設等において、市民主体の多様なサークル活動などが行われています。近隣センター等の公共施設の空き状況を確認し、是非ご活用ください。
5-1	意見	データについて	老人福祉センターの在り方方針（案）作成時は見込みでしたが、令和5年の利用者実績値は40,692人（西部20,688人、つつじ荘20,004人）と大きな変化はありませんでした。老人福祉センターの1日当たりの平均利用者数、延べ利用者数は現在徐々に戻りつつありますが、コロナ禍以前の水準までは戻っていない状況です。
	理由	なぜ令和4年のデータなのか。コロナ禍でカラオケはゼロ、入浴者は予約制、人数制限の為、正確ではない。策定日令和6年3月11日では令和4年3月バーコード入館証が交付されており令和5年のデータは見れるはずです。よって利用者減少の数字は正確ではない。令和5年のデータを基に再度、検証するべきではないか。	
5-2	意見	利用者の固定化について	「利用者の固定化」について、市としては、幅広い地域の方に利用をしていただきたいと考えています。 なお、現在でも、健康状態など心配なことがあれば、高齢者支援課や地域の高齢者なんでも相談室にご相談ください。
	理由	西部福祉センターの利用者の3割以上が徒歩での利用です。これは何を意味するのかといいますと、ひきこもり及び老化予防、健康維持の貢献につながるの思いからです。	
5-3	意見	費用対効果	老人福祉センター2館の運営に要する費用から換算すると、利用者1日一人当たりのコストは2,268円となり、近隣の民間温浴施設の平日1日770円（回数券）と比較しても高額となります。 限られた市の財源を活用し、社会情勢の変化に合わせながら市民全世代のニーズに対応していく必要があると考えています。
	理由	費用対効果とはビジネス用語で今回の効果に何を求めますか。健康福祉は数字では表わす事は出来ません。民間の温浴施設の利用料金は具体的に何を基準に算定していますか。現状、我孫子市には「満天の湯」が一番近く平日一日700円かかります。コストとしてどちらが高いかは、明瞭です。	
5-4	意見	施設の老朽化	2館とも老朽化が進んでおり、施設を安全

	理由	つつじ荘は、1974年に稼働、50年経過しております。西部福祉センターは1992年、32年経過していません。建築法上、西部福祉センターは、10年以上維持出来ます。	<p>に維持していく上では、建物や設備の大規模な改修工事が必要となります。令和2年度に策定した「我孫子市老人福祉センター等個別施設計画」では、今後の施設維持に必要な工事費として、2館合わせて概算で約2億4千万円程度と試算しています。現在は通常の維持コストに加え、物価高騰等により更なる増加が見込まれており、今後も市民全体のニーズに適切に対応しながら持続可能な財政運営を進めていくためには、1館に統合することが適当であると考えています。</p> <p>また、市民活動の場として西部福祉センター開設当初と比較し近隣センターや民間施設等において、市民主体の多様なサークル活動などが行われています。近隣センター等の公共施設の空き状況を確認し、是非ご活用ください。</p>
5-5	意見	アンケート結果	<p>令和5年度についても、つつじ荘及び西部福祉センターで利用者アンケートを行っています。</p> <p>アンケート結果については令和4年度と大きな変化はありません。</p>
	理由	アンケートは令和4年度のデータを基に出された数字ですので、再度、アンケートを取ることを望みます。	
5-6	意見	地理的特性及び施設規模	<p>つつじ荘は、市域のやや東寄りにある概ね中心に近いエリアに位置しており、西部福祉センターと比べると市内全体からアクセスがしやすい位置にあります。</p> <p>また、収容人員がつつじ荘は290名、西部福祉センターは100名であり、つつじ荘の方が約3倍の収容能力があります。統合となった場合は、市全域から高齢者が集まるため、収容人数は重要な判断基準となります。</p> <p>なお、統合する場合は、送迎バスの現行の運行ルートを基本に、活用しやすくなるよう検討していきます。</p>
	理由	仮に、2館を統合して「つつじ荘」に集約する事になると「つつじ荘」は交通手段は徒歩は望めず、送迎バスが主体となります。自転車、自家用車は高齢者にとって非常に危険である。「西部福祉センター」の場合は徒歩の比率が高く施設の耐久性からみて、こちらを残すべき。	

5-7	意見	2館とも、入浴者が多いのは、一人暮らし、高齢者世帯が大半でこの施設が無くなると浴室の清掃準備に負担がかかり健康を損ねる可能性が大きい。よって、高齢者に対して優しい我孫子市の方針であってほしいと願っています。	<p>統合する場合の入浴事業については、利用時間の延長も含めてサービスが向上できるよう検討します。</p> <p>自宅での入浴について心配なことがありましたら、お近くの高齢者なんでも相談室にご相談ください。</p>
	理由	なし	
6-1	意見	体が悪くなったので、お風呂に入りたい。お金を払っても良いから週2日間はやってほしい。	<p>統合する場合の入浴事業は、利用時間について、延長も含めて検討します。</p> <p>送迎バスの現行の運行ルートを基本に、活用しやすくなるよう検討していきます。</p>
	理由	老人の気持ちを理解してほしい。	
7-1	意見	「老人福祉センターの在り方方針（案）を読み大変参考になりました。できれば2～3年継続して、利用できれば有難いと思います。	<p>高齢者の「居場所」として親しまれている場ではあると認識しています。しかし、高齢者の生活様式の変化等により利用者の減少及び固定化が進んでいることや、施設の老朽化により維持コストの更なる増加が見込まれています。今後も市民全体のニーズに適切に対応しながら持続可能な財政運営を進めていく上では、1館に統合することが適当であると考えています。</p>
	理由	老人の「居場所」として、老人福祉施設は大変居心地が良い所だと思います。	
8-1	意見	西部福祉センターは我孫子市の特筆すべき施策と考え大いにPRすべきものと考えています。これから老人がますます増えていきます。大いに宣伝し利用を推奨したいと思います。	<p>統合する場合も、老人福祉センターについて、高齢者の居場所の一つとしてPRしていきます。</p>
	理由	年々利用者が減っていると報告されていますが多くの費用を費やしているのに反し、殆どの老人が「知らない」「知らなかった」と言います。即ちPR足りないもしくは利	

		用させたくないからと思っています。市の広報にも殆ど記載されていません。	
8-2	意見	老人は風呂、それも大きな湯舟を好みます。そこで、「スーパー銭湯」に割引利用券を発行できないか、ご検討いただきたい。	スーパー銭湯の割引利用券については、現状では対象者の範囲設定が難しいと考えています。
	理由	「手賀沼大橋の横にある、満天の湯」の200円券程度の補助があれば助かるし、利用しやすい。	
8-3	意見	つつじ荘は、利根川沿いにあるが、辺鄙な処にあり、不便であり、狭すぎる更衣室等を利用したくない。	つつじ荘は、市域のやや東寄りにある、概ね中心に近いエリアに位置しており、西部福祉センターと比べると市内全体からアクセスしやすい位置にあります。 統合する場合は、更衣室の整備等について検討していきます。
	理由	なし	
8-4	意見	議員を削減すべき	意見を求めている施策案に関連がないため、回答しません。
	理由	以前からの懸案事項であり、人口13万人程度の市のあるべき定数を早々に決めるべき。	
8-5	意見	我孫子駅横の「ケヤキビル」を市庁として、老朽化している市庁舎の代替とする。その上で、福祉センターの機能を持たせる。風呂、フィットネス、カラオケ他。	前段については、意見を求めている施策案に関連がないため、回答しません。 後段については、けやきプラザに、老人福祉センターの機能を持たせることは考えていません。
	理由	なし	

8-6	意見	今の福祉センター向けのバスは、はなはだ不効率でほとんど利用されていない。ガラ空きのバスが多い。上記の案で駅近くとなりバスは不要。	<p>西部福祉センターの送迎バスは、令和4年度の延べ利用者数が7,963人となっています。</p> <p>西部福祉センターの利用者だけでなく、近隣住民の重要な交通手段となっています。</p>
	理由	なし	
8-7	意見	福祉センターは無料にする必要はなく、利用者負担も考えて良い。スーパー銭湯よりも安く300円～500円程度か。	利用者負担については検討していきます。
	理由	なし	
8-8	意見	センターは何の為に作り、市としてどうあるべきかを考えてもらいたい。経済不況が多いのは、始めから分かっていることで、老人福祉施策の一つとして、本当に廃止して良いものか、もっと総合的に考えてもらいたい。	<p>高齢者の「居場所」として親しまれている場ではあると認識しています。高齢者の生活様式の変化等により利用者の減少及び固定化が進んでいることや、施設の老朽化により維持コストの更なる増加が見込まれています。</p> <p>また、市民活動の場として西部福祉センター開設当初と比較し近隣センターや民間施設、市民主体の多様なサークル活動などの集いの場が存在しています。近隣センター等の公共施設の空き状況を確認し、是非ご活用ください。</p> <p>また、西部福祉センターを整備した当時と比べ現在では、介護保険制度も充実しています。</p> <p>なお、多くの方が健康な状態からフレイルを経て、要介護状態になると考えられているため、フレイル予防として「15分で出来</p>
	理由	なし	

			<p>る！あびこ元気アップ体操」を市内16か所の強化型きらめきデイサービスで行っています。是非ご利用ください。</p> <p>さらに、市内5か所の高齢者なんでも相談室で高齢者の心配ごとなどの相談に対応しています。</p>
9-1	意見	老人福祉センターを残してほしい。	<p>老人福祉センターが高齢者の「居場所」として親しまれている場ではあると認識しています。</p> <p>高齢者の生活様式の変化等により利用者の減少及び固定化が進んでいることや、施設の老朽化により維持コストの更なる増加が見込まれていることなどから、今後も市民全体のニーズに適切に対応しながら持続可能な財政運営を進めていく上では、1館に統合することが適当であると考えています。</p> <p>また、多くの方が健康な状態からフレイルを経て、要介護状態になるため、フレイル予防として「15分で出来る！あびこ元気アップ体操」を市内16か所の強化型きらめきデイサービスで行っています。是非ご利用ください。</p> <p>なお、統合する場合は、送迎バスの現行の運行ルートを基本に、活用しやすくなるよう検討していきます。</p>
	理由	<p>一人で家でこもっていると体や心がすごく乱れる。体や心の癒しがほしい。</p> <p>もう一つのセンターは1日ばかりですで行けない。</p>	
10-1	意見	<p>お風呂は一人暮らしの冬場のヒートショックの孤独死の予防にもなっているのです。もしセンターがなくなれば私達は間違いなく病院通いになるのは明らかです。廃止に全面的に後押しするのは、若い市会議員さんだと承知しています。我々の現状を理解するのは困難だということはわかります。我々の幸せの源をなくすことを改</p>	<p>統合する場合も入浴事業については継続します。見守りなどを強化し利用者が安全で快適に利用できるよう、検討していきますので是非ご利用ください。</p> <p>なお、統合する場合は、送迎バスの現行の運行ルートを基本に、活用しやすくなるよう検討していきます。</p>

		めてお考えいただきたいと思います。	
	理由	なし	
	意見	「つつじ荘」と「西部福祉センター」を統合し、「つつじ荘」のみを残して「西部福祉センター」は廃止する。と提言していますが、温浴に週2回ほど利用している高齢者で且つ、低所得層である年金生活者の私としては、温浴は健康を保つためにも必要で、尚且つ有益である施設と思っていますので、「西部福祉センター」の廃止には、反対します。又、住居地域から遠く離れて且つ、不便と思われる「つつじ荘」の廃止と「西部福祉センター」の存続を再検討して下さい。	<p>高齢者の生活様式の変化等により利用者の減少及び固定化が進んでいることや、施設の老朽化により維持コストの更なる増加が見込まれていることなどから、今後も市民全体のニーズに適切に対応しながら持続可能な財政運営を進めていく上では、1館に統合することが適当であると考えています。</p> <p>各理由について、補足説明をいたします。 理由①については、今後も我孫子市では高齢者が増えますが、高齢者の生活様式の変化等により、コロナ禍以前の利用状況に戻るのには難しいと考えています。広報については、引き続き周知を図っていきます。</p>
11-1	理由	①統合の理由として、両館共利用者の減少と固定化を掲げ、さらにコロナ禍以前の利用者数まで回復していないと断定しているが、日本国内の経済状況では、コロナ禍以前の状況に向かって、回復が順調に進んでいる状態であるのに、調査時期令和5年の状況を見て、直ちに利用者の回復は困難と決めつけている。これは市の担当部署の取り組みが、足りないことを表しているにすぎません。今後我孫子市でも日本国内と同様に高齢者は増加するので、ちゃんと取り組みれば、利用者は必ず増加すると考えます。まず第一に、アンケートで両館の存在を知らない人が、多	<p>理由②については、つつじ荘は、市域のやや東寄りにある概ね中心に近いエリアに位置しており、西部福祉センターと比べると市内全体からアクセスがしやすい位置にあります。</p> <p>統合する場合、送迎バスの現行の運行ルートを中心に、活用しやすくなるよう検討していきます。</p> <p>理由③については6年間平均の経常コストについて「つつじ荘」が約4,304万円、「西部福祉センター」が約3,683万円となっていますが、収容人員がつつじ荘は290名、西部福祉センターは100名で面積や設備、収容人員などが異なることによるものです。</p> <p>統合する場合は、市全域の高齢者が対象となるため、収容人数は重要な判断基準となります。</p>

	<p>数いるとのことですが、これは広報が足りないことを、端的に表していると思います。</p> <p>②「つつじ荘」の設置場所が、町中から遠く離れた場所にあり、高齢者が利用するには、徒歩又は自転車等での利用は困難と思われます。よって自家用車又は送迎バスに頼らざるを得ないのが現状と思われます。それに対して「西部福祉センター」は、近隣の人たちが徒歩又は自転車、又遠くの人達は送迎バスによって通えるので、利用には非常に便利な施設と考えます。従い、「西部福祉センター」は残すべきです。</p> <p>③両施設の経常コストを比較してみると、「つつじ荘」が約4,304万円、一方「西部福祉センター」は約3,683万円と「つつじ荘」より約621万円安い。従い、経費を多く削減出来る「つつじ荘」の方を、廃止するのが妥当と考える。尚、利益を目的とする民間の温浴施設の料金等と比較しているコメント等があるが、これはナンセンスと考えます。</p> <p>④両施設の老化対策費用では、当然施設が広く且つ建物の古い「つつじ荘」が、建物及び設備の更新工事費用は、当然「西部福祉センター」よりも、高額となる。両施設合わせて概算2億4千万円程度と試算しており、その両施設の割合は不明であるが、「つつじ荘」の方がより高額と思われる。</p>	<p>なお、民間の温浴施設の料金との比較については、市が入浴施設を運営する上で、公共施設と民間施設の比較をするため参考としています。</p> <p>理由④については、各施設の修繕料は、令和3年3月に策定した「我孫子市老人福祉センター等個別施設計画」において、つつじ荘は1億5,245万円、西部は8,463万円となっています。</p> <p>西部福祉センターの方が低額となっていますが、定員数や面積など施設規模や直近で必要とされる修繕内容に違いがあるためです。</p> <p>理由⑤については、今回の老人福祉センターの在り方方針(案)とは関連していません。</p>
--	---	---

		<p>従い、今後高額の老朽化対策費用が必要な「つつじ荘」の方を廃止すべきである。</p> <p>⑤庁舎等の建設を準備中とのことですが、その資金の準備金として単年度当たり、約 7,400 万円を積立てることが必要としているようですが、「つつじ荘」の廃止により、年間約 621 万円程余りますので、この資金を積立金等に活用出来ると考えます</p>	
12-1	意見	<p>我孫子市は誰もが安心して暮らせる街づくりを進めます。(市長談)市の方針で高齢者に出来るだけ長く、元気で長生きしてもらう為、フレイル予防の施策に力を入れています。医療保険、介護保険も出来るだけ使わないですむ事です。我孫子市の高齢化率は 30.9% (R5 人口 130,959 人) 高齢者の 4 人に 1 人が 1 人暮らしという状況です。</p> <p>(R5.2 月 1 日、健康福祉部、高齢者支援課、課長、西部福祉センターの利用者は、H30 年は (1 日当たりの平均利用者数) 115 名、以降のデータはコロナ禍で参考にならないがセンターの収容人数 100 名に対し、H30 年の 115 名はほぼ 100% 稼働しており高齢者が益々増える傾向を考えると十分ではないか。又、もっとも重要な事は一人暮らしの高齢者の入浴問題です。一人の入浴時の事故の心配は本人も含め同居していない家族が一番に懸念される事です。安心、安全の為にもセンターの様に無料でいつで</p>	<p>入浴事業については、利用者が安全で快適に利用できるよう、検討していきます。</p> <p>ご自宅での入浴について困っていることがありましたら、お近くの高齢者なんでも相談室にご相談ください。</p> <p>なお、統合する場合は、送迎バスの現行の運行ルートを基本に、活用しやすくなるよう検討していきます。</p> <p>さらに、2 館とも老朽化が進んでおり、施設を安全に維持していく上では、建物や設備の大規模な改修工事が必要となります。令和 2 年度に策定した「我孫子市老人福祉センター個別施設計画」では、今後の施設維持に必要な工事費として、2 館合わせて概算で約 2 億 4 千万円程度と試算しています。現在は通常の維持コストに加え、物価高騰等により更なる増加が見込まれており、今後も市民全体のニーズに適切に対応しながら持続可能な財政運営を進めていくためには、1 館に統合することが適当であると考えています。</p> <p>令和 5 年度の利用者のデータは近年と同じ傾向となっています。</p> <p>また、多くの人が健康な状態からフレイルを経て、要介護状態になると考えられているため、フレイル予防として「15 分で出来</p>

	<p>も安心して入れる施設が必要で す。センターの利用者の3割は徒 歩で利用しています。フレイル施 策を実践しています。センターは RC造（鉄筋コンクリート）の耐用 年数は（原価償却資産の耐用年数 等に関する省令）60年から47年 になったが減価償却は実際には 100年持つと言われている。32年 経過のセンターはあと40年はも ちます。</p> <p>市民体育館は徒歩でいけない、又 民間の施設は有料でかつ毎日使用 する事は高額となり、使用者は負 担が大きくなります。なのででき ません。仮に統合するのであれば、 つつじ荘に集約するとなれば利用 者の大半は徒歩（0.5%）以外で周 辺の立地条件からして、車、バス、 自転車利用は危険がいっぱいで す。「委員意見要約」で費用対効果 で利用者一人当たりのコスト等数 字が出ているが費用に対して効果 は何を求めているのか。安心、安 全、健康、福祉は数字で表わせる 事が出来ないのではないでしょ うか。ナンセンスです。結論ありき の報告書でなく策定日令和6年3 月11日時点では、令和4年3月 にバーコード入館証が交付されて おり令和5年のデータは見れるは ずです。令和5年のデータを基に 再度検討お願い致します。</p>	<p>る！あびこ元気アップ体操」を市内16か所 の強化型きらめきデイサービスで行ってい ます。是非ご利用ください。</p>
--	---	---

	理由	なし	
--	----	----	--